

研究課題 (テーマ)		富山建設界の業界研究を通じたキャリア形成支援と県内定着の推進	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	環境・社会基盤工学科	教授	渡辺 幸一
	環境・社会基盤工学科	准教授	手計 太一
研究結果の概要			
<p><b>【2018年度実施内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>M1、B3を対象として、「業界研究連続講義1、2、3」を実施した。富山県建設業協会、富山県測量設計業協会、斜面防災協会・地質調査業協会の3協会から1名ずつ講師をお招きして講義を実施した。</li> <li>富山県建設業協会高岡支部と学生との意見交換会（学生25名、企業11名）を実施し、イマドキの学生たちの意見聴取に貢献した。</li> <li>富山県建設業協会主催の「女子学生のための現場見学会」にB1～M1までの40名の女性学生を参加させた。</li> <li>1年、2年生の低学年を対象とした業界企業研究会を実施した。富山県建設業協会、富山県測量設計業協会、斜面防災協会・地質調査業協会の3協会から合わせて30社が参加した。学生はB1、B2合わせて103名が参加した。</li> </ol> <p><b>【キャリア形成活動における成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土木系業界そのものの理解とともに、県内企業を知ってもらうためには、極めて大きな効果があったことは間違いない。数名のB3はこのプログラムを通して、企業と個別に採用に向けた活動を実施した実績がある。</li> <li>上述の1～4の定例化に向けて、建設業協会と打合せを実施しており、2019年度も問題なく実施可能である。</li> <li>通年のインターンシップへの参加実績はなかった。企業側の受け入れに問題はなかったものの、学生側のニーズがなかった。今後、参加を促す仕組み作りが必要である。</li> </ul>			
今後の展開			
<p>2018年度に遂行した1～4の全てについては、2019年度の実施に向けてすでに建設業協会と打合せを実施済みであり、実施する予定である。</p> <p>上述の通り、通年のインターンシップについては、学生のニーズを聞いて新たに仕組み作りをしていきたい。</p>			